

第3学年 社会科学学習指導案

い組 男子19名 女子19名 計38名
指導者 藤崎 智大

1 小単元 鹿児島市大発見

2 小単元について

(1) 小単元の位置とねらい

子どもたちは、これまでに学校周辺の見学、観察活動を通して、学校の周辺の地形や土地の使われ方、交通の様子などは場所によって違いがあることをとらえてきている。このような学習をしてきている子どもたちは、さらに広く、自分の住む鹿児島市全体の様子に目を向け、地形や土地利用の様子などについて関心をもち始めている。そして、実際に見学して詳しく調べたり、その結果を絵地図などにまとめたりしたいという意欲が高まってきている。

そこで、本小単元では、市の特色ある地形や土地利用の様子、主な公共施設の場所や働き、交通の様子、古くから残る建造物などを追究する活動を通して、自分たちの住む鹿児島市は場所によって違いがあることをとらえさせようとするものである。また、具体的な観点に基づいて見学したり、地図や写真資料などを活用したりすることで、場所の類似点や相違点を明らかにし、特色のある地形と土地利用、交通の様子などを関連付けて考え、分かったことや考えたことを地図や文に表現することができるようにするものである。

このような学習は、鹿児島市における販売や生産活動に従事する人々の工夫について追究する学習へ発展していくものである。

(2) 指導の基本的な立場

鹿児島市は、県の中心部に位置し、約60万人が居住する県庁所在地である。子どもたちが通う附属小学校を中心に考えると、市の北側の平地には、住宅や商店が密集している。そして、交通の要所である中央駅周辺や天文館などのように、人の往来が多く、商店や会社が集まっているところ、山下町のように市民のよく利用する文化的な公共施設などが多く集まり、古くから残る石造りの建造物なども点在しているところがある。また、北側や西側の丘陵地には、田畑や茶畑が広がっているところ、宅地造成が進み大きな団地や公園が点在しているところがある。東側の海岸沿いの埋め立て地には、南の島々と結ぶ港や県庁や科学館といった公共施設などの他に、大きなマンションが建ち並ぶ住宅地などが多い。南側の平地には、産業道路沿いに大規模小売店舗が並び、谷山港の周辺の埋め立て地には、問屋や工場が集まり、生産や物流が盛んである。このように、鹿児島市の土地利用の様子には、地形的な条件や社会的な条件とかがわりがあり、場所によって違いがある。

そこで、ここでは、鹿児島市の様子が、場所によって違いがあることを具体的な事実を基に、根拠をもって考えることができるようにするために、特色ある地形や土地の利用の様子、交通の様子、主な公共施設や古くから残る建造物のあるところを追究させるようにする。その際、土地利用の様子と地形や交通の様子とを関連付けて考えさせることで、市で生活している人々の土地利用の仕方は、地理的な条件や社会的な条件とかがわりがあることをとらえさせるようにする。

そのために、まず、自分の住む地域を紹介し合ったり、鹿児島市全体の地図や写真を基に話し合わせたりする活動を通して、分かることや分からないことを明らかにさせながら、鹿児島市の様子はどのようになっているのだろうかという問題意識をもたせるようにする。その際、市内の特色ある地域の写真を基に、地形や土地利用の様子について話し合い、学校の周りの様子から市の様子へと調べる範囲を広げて追究したいという意欲を高めていく。次に、一人一人の予想を基に、「地形の様子」「土地利用の様子」「交通の様子」「主な公共施設や古くから残る建造物」の観点から追究計画を立て、実際に見学したり、写真資料や地図を活用したりすることを通して、追究させることにする。そして、自分なりに追究した土地の様子を個人やグループで白地図や絵、文にまとめさせたり、具体的な根拠を基に地形と土地利用や交通の様子とを関連付けて考えさせたりして、自分た

ちの学校を中心に、四方位から市全体の様子について話し合うことで、市の様子は場所によって違いがあることをとらえさせ、空間認識を広げていくようにする。さらに、これまでの学習で身に付けた地図や資料の活用の仕方を生かして鹿児島市のパンフレットづくりに取り組ませることで、鹿児島市の様子についての見方や考え方を深めていくようにする。

このような学習を通して、子どもたちは鹿児島市の特色ある地形や土地利用の様子が分かる楽しさを味わいながら、地域における社会的事象を観察して分かったことを地図に表す力を高めたり、地域の様子を比べ、場所によって違いがあることを考えたりする力を高めることになる。

(3) 子どもの実態（調査人数 38 人、質問紙法、重複回答、主な項のみ記述）

<p>1 学校の周りの様子 小中学校 (19), 大学 (14), 店 (12), 電車や電停 (9), マンション (8) バス停 (4), 住宅 (2)</p> <p>2 鹿児島市の様子 商業施設 (31), 公共施設 (16), 駅 (12), 桜島 (12), 家 (9), マンション (5), 海 (4), 新幹線 (3)</p> <p>3 本小単元にかかわる資料活用力</p> <p>(1) 1 枚の写真資料の読み取り 全体的な傾向 (29), 部分 (9)</p> <p>(2) 2 枚の写真資料の読み取り 相違点 (34), 類似点 (4)</p> <p>(3) 地図による目的地の見つけ方 できる (36), できない (2)</p> <p>(4) 調べ方…見学 (24), 教科書・副読本 (14), 地図 (6), インターネット (4)</p> <p>(5) まとめ方…新聞 (22), 地図 (17), ポスター (12), 紙芝居 (8)</p>	<p>この学級の子どもの、学校周辺や鹿児島市の様子についての見方や考え方は次の通りである。</p> <p>子どもたちは、これまでの学習や生活経験から、自分たちが通う学校周辺には、小中学校や大学、店があることや近くに電車が通っていることをとらえている。鹿児島市の様子については、商業施設や交通機関といったよく利用する施設や場所に注目している子どもは多いが、市の地形や土地利用、古くから残る建造物に着目している子どもは多くない。そこで、土地の利用の様子と地形や交通の様子とを関連付けて考えさせたり、見学や地図を基に、市内に古くから残る建造物について調べさせたりすることで、市で生活する人々が地域の土地をどのように利用しているのかをとらえさせたい。</p> <p>また、ほとんどの子どもたちが、学校の周りの地図から、学校を基準として、方位を確かめたり、学校から対象となる建物の場所を確認したりすることができる。そこで、身近な学校周辺の地域から鹿児島市全体へと学習対象を広げ、学校周辺での追究方法を生かし、地図や白地図を活用した追究活動に取り組ませることによって、子ども一人ひとりの空間認識を広げられるようにしたいと考える。</p>
--	--

(4) 指導上の留意点

以上のことを踏まえて、指導に当たっては、次のことに留意したい。

鹿児島市の様子は場所によって違いがあることを具体的にとらえさせるために、「地形の様子」「土地利用の様子」「交通の様子」「主な公共施設や古くから残る建造物」という柱で主体的な追究をさせていく。その際、鹿児島市の様子は、場所によって違いがあることをよりよく理解させるために、周囲の土地利用の様子と特色ある地形や交通の様子を関連付けながら追究させていく。その際、自分の考えを説明する場を設定することで、自分の考えの根拠を明らかにしながら学び合わせるようにしたい。

ア まず、子どもたちの住む地域を紹介させ、市内の様子について、自分が知らないところがあることに気付かせる。また、特色ある地域の写真を提示し、学校の周りや自分の住む地域との違いを基に、鹿児島市にはどんな場所があり、土地の様子はどうなっているのだろうかと問題意識をもたせ、鹿児島市の様子について追究したいという意欲を高めたい。そして、附属小学校を中心にして、鹿児島市の様子を方位ごとに、これまでの学習や生活経験を基にして自分なりの根拠ある予想をさせ、具体的に追究計画を立てさせることで、自分の考えを基に、目的意識と学習の見通しをもって追究できるようにしたい。

イ 自分たちの住む鹿児島市の様子は、場所によって違いがあることをより具体的にとらえさせるために、「地形の様子」や「土地利用の様子」について、重点的に調べさせるようにする。そこで、まず、特色ある地域について具体的に調べさせるために、市内見学の際に、地形の様子や土地利用の様子について特色のある地域を中心に観察できるようにする。さらに、見学を通して明らかになったことを基に、それぞれの地域ごとに、白地図やカードを活用して、地図記号を記入させたり、地形の様子や土地利用の様子の違いで色分けさせたりしながら、地図や文でまとめさせる。次に、まとめたことを基にして、地形の様子と土地利用の様子とを関連付けることで、地形的な条件によって土地の利用の仕方に違いがあることを考えることができるようにする。そして、中央駅周辺の様子を取り上げ、道路図やバスの路線の数を基に土地利用の様子と交通の様子とを関

連付けながら考えさせることで、土地の利用の仕方には、社会的な条件ともかかわりがあることもとらえられるようにしたい。

ウ 追究した結果、鹿児島市の特色について分かったことや考えたことを生かしながら、鹿児島市の特色について市のパンフレットにまとめ、互いに紹介し合う活動を取り入れることで、市の様子に対する見方、考え方を深めるとともに、自分たちの住む鹿児島市の様子が分かる喜びや楽しさを味わわせたい。

3 目 標

- (1) 自分たちの住む鹿児島市の様子に関心を持ち、これまでの学習を生かしながら、主体的に取り組むことができる。
- (2) 鹿児島市の様子について、方位ごとに比較したり、土地利用の様子と地形、交通の様子とを関連付けたりして、考えたことを適切に表現することができる。
- (3) 鹿児島市の様子について、自分の調べたことを明確にしていくために、観察を通して明確になったことを白地図にかき込んだり、絵と文などで表したり表現することができる。
- (4) 自分たちの住む鹿児島市は、地形や土地利用の様子、交通の様子、主な公共施設や古くから残る建造物などに特色があり、それらは場所によって違いがあることをとらえることができる。

4 指導計画 (全 12 時間)

学習過程	主な学習活動	学び合う喜びや楽しさの深まり	教師の具体的な働きかけ
つかむ	<ol style="list-style-type: none"> 1 自分の住んでいる地域の特徴について話し合う。 2 鹿児島市の特色ある地域の写真から、気付いたことや疑問に思ったことを基に、学習問題を設定する。 わたしたちの住む鹿児島市の様子は、どのようになっているのだろうか。 3 学習問題について予想をし、調べ内容や方法について話し合う。 [調べる内容] ○ 地形の様子 ○ 土地利用の様子 ○ 交通の様子 ○ 主な公共施設や古くから残る建造物の位置 [調べる方法] ○ 見学 ○ のびゆく鹿児島、市内地図 4 市内見学の計画を立てる。 5 市内見学をし、地形や土地利用などについて分かったことを白地図やカードにまとめる。 6 まとめた資料を基に、鹿児島市の様子について話し合う。 (1) 地形や土地利用について話し合う。 	<p>みんなの住んでいる地域はどこかな。</p> <p>自分の知らない所がたくさんあるな。 場所によって様子が違うそうだな。</p> <p>鹿児島市は、どこにどんなものがあるかな。 土地の様子はどうなっているのかな。</p> <p>学校の周りの様子で学習したことを生かせないかな。</p> <p>実際にその場所に行って調べたいな。</p> <p>土地が高い所や低いところがあるよ。 海に近く、埋め立て地や港があるよ。 店や住宅が集まっている所があるぞ。</p> <p>住宅地は平地や台地に多いな。 工場は埋立地に多いな。 台地では畑を作るところがあるぞ。</p> <p>地形によって土地の使われ方が違うのだな。</p> <p>駅の近くや、みんなが使う施設が集まっているところには、商店街や住宅が多いな。</p> <p>交通の様子によっても、土地の使われ方が違うのだな。</p> <p>鹿児島市は、地形や土地利用の様子、交通の様子などに特色があるから場所によって違いがあるのだな。</p> <p>鹿児島市の様子について紹介できるパンフレットを作りたいな。</p> <p>鹿児島市っていいところだな。 鹿児島市について、もっと調べたいな。</p>	<p>◎ 市の地図黒板 ○ 鹿児島市の様子が地域によって違うことを気付かせるために、子どもたちの紹介カードを基に問題意識をもたせる。</p> <p>◎ 写真 (特色ある地域)、 ○ 鹿児島市の様子について問題意識をもたせるために、市の特色ある地域の写真を読み取らせ、どんな特色があるのか話し合わせる。</p> <p>○ 学習問題に対する自分の考えを明確にさせるために、学習経験や生活経験を基に予想させ、そのように考えた根拠を記述させる。</p> <p>◎ 地図 (市内地図) ○ 見学の見通しをもたせるために、地図に見学経路を記述させる。</p> <p>○ 市内各地の様子の違いをとらえやすくするために、地形の様子や土地利用の様子、学校からの位置などの観点から、見学させるようにする。</p> <p>○ 調べて分かったことを明確にするために、グループごとに白地図に絵や文を活用してまとめる。</p> <p>◎ 地図 (地形図、土地利用図) ○ 鹿児島市の様子は、地域によって違いがあることをとらえさせるために、特色ある地域の様子を比較したり、地形と土地利用の様子を関連付けたりして話し合わせるようにする。</p> <p>◎ バスの路線図、道路図 ○ 土地利用が社会的な条件ともかかわりがあることをとらえさせるために、公共施設が多く見られるところや交通の様子などと土地利用の様子を関連付けて話し合わせるようにする。</p> <p>○ 調べたことや考えたことをまとめるために、鹿児島市の特色やよさを伝える市の紹介パンフレットづくりをさせる。</p>
立てる	<ol style="list-style-type: none"> 7 公共施設や古くから残る施設について調べ白地図にまとめる。 8 学習を振り返り、市の紹介パンフレットにまとめる。 		
調べる	<p>(2) 交通の様子について話し合う。</p> <p>附属小周辺の様子 住宅・大学・マンション 車道が狭い 電車・バス</p> <p>土地 利用</p> <p>鹿児島中央駅周辺の様子 商店街 会社・駐車場 新幹線・JR 交通量が多い</p> <p>交通の様子や土地の使われ方がとなり、場所によって様子が違う。</p>		
まとめる・広げる	<p>私たちの住む鹿児島市は、いろいろな地形や土地利用の様子が見られ、場所によって違いがある。</p>		

5 本 時 (10 / 12)

(1) 目 標

ア 鹿児島中央駅周辺の様子について、土地の使われ方と交通の様子とを関連付けて話し合うことを通して、自分の考えの根拠を明らかにしながら、意欲的に追究することができる。

イ 鹿児島中央駅周辺の土地の様子や交通の様子について話し合うことを通して、土地の使われ方は交通の様子とかかわりがあることを具体的にとらえることができる。

(2) 本時の展開に当たって

本時の展開に当たっては、土地の利用が交通の様子とかかわりがあることをとらえさせるために、グループでまとめた資料を基に、鹿児島中央駅と附属小周辺の土地利用の様子と交通の様子を比較させ、交通手段や交通量の違いを根拠としながら様子が異なる理由を説明させたい。

(3) 実 際

学習過程	主な学習活動	時間	教師の具体的な働きかけ
の追究 具体化 計画 追究 追究 問題 の 究 明 ま と め	1 本時における追究問題を確認し、具体化する。 附属小周辺と鹿児島中央駅周辺は、なぜ様子がちがうのだろうか。	(分) ↑ 8	㊟ 写真(鴨池一丁目の様子) ㊟ 写真(鹿児島中央駅の様子) ○ 「同じ平地なのに、様子が違うのはなぜだろうか。」という問いをもたせるために、建物や人を比較しながら話し合わせる。 ○ 本時の学習の進め方を明確にし、見通しをもった追究ができるようにするために、学習の進め方や資料を明確にする。
	2 学習の進め方について話し合う。 ○ グループでの話し合い→全体での話し合い ○ グループで作成した資料、のびゆく鹿児島	↓	○ 本時の学習の進め方を明確にし、見通しをもった追究ができるようにするために、学習の進め方や資料を明確にする。
	3 土地の使われ方や交通の様子について話し合う。 (1) 土地の使われ方について話し合う。 (2) 交通の様子について話し合う。	↓	○ 本時の学習の進め方を明確にし、見通しをもった追究ができるようにするために、学習の進め方や資料を明確にする。
	<p>鴨池一丁目の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> 大学がある 住宅が多い マンションが多い 住んでいる人が多い <p>鹿児島中央駅周辺の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> 店が多い 高い建物が多い ホテルが多い 駐車場が多い 働く人や買い物客が多い <p>土地の使われ方</p> <p>交通の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> 車道が狭い バスが通っている 市電が通っている 車道が広い バスの本数が多い 交通量が多い 列車や新幹線が通っている <p>交通量や乗り物の種類がちがう</p> <p>土地の使われ方や交通の様子にちがいがあ</p>	30	㊟ グループで作成した資料(鹿児島市の様子) ○ 自分たちが作成した資料の中央駅周辺と附属小周辺の様子の相違点に気付かせるために、「どんなところがちがうだろうか。」と発問しながら土地の使われ方について話し合わせる。 ㊟ バスの路線図 ○ 中央駅周辺と附属小周辺の交通量の違いをとらえさせるために、バスの路線図を提示し、路線の数について話し合わせる。 ㊟ 数値(中央駅の利用者数) ○ 土地利用が交通の様子と深いかわりがあることをとらえさせるために、新幹線やJRの利用者数に着目させ、何のために利用しているのかを話し合わせる。
	4 本時の学習についてまとめる。 様子がちがうのは、土地の使われ方や交通の様子がちがうからである。	↓	○ 自分たちが作成した資料の中央駅周辺と附属小周辺の様子の相違点に気付かせるために、「どんなところがちがうだろうか。」と発問しながら土地の使われ方について話し合わせる。
5 次時の学習について話し合う。	↓	○ 自分たちが作成した資料の中央駅周辺と附属小周辺の様子の相違点に気付かせるために、「どんなところがちがうだろうか。」と発問しながら土地の使われ方について話し合わせる。	
		7	○ 様々な交通手段によって他地域と結びついていることをとらえさせるために、中央駅周辺に訪れる人や働く人の話から、駅を使用する理由を話し合わせる。 ○ 根拠を基にして考えたことを整理させるために、自分なりの考えとその理由をノートに記述させる。